

第3回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：平成30年12月18日（火） 14時00分～

場 所：市民活動センター 2階大会議室

出席者：22人

会長	田中 伸弘	湖西市副市長
副会長	佐原 秀直	湖西市企画部長
座長	伊豆原 浩二	愛知工業大学 客員教授
委員	小野田 剛久 (代理：小林 廉)	遠州鉄道株式会社 運輸業務部長
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役
委員	杉浦 一徳	遠鉄タクシー株式会社 営業本部長
委員	平野 隆広 (欠席)	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	平野 洋一 (欠席)	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	久保田 素広	中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	田中 友親	遠州鉄道 労働組合 副執行委員長
委員	大倉 篤 (代理：村松 由貴)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	井倉 基	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	日内地 昭広 (代理：佐々木 秀喜)	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	竹島 清一	湖西市自治会連合会 会長
委員	杉浦 徹衛	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	佐藤 幸夫	湖西市社会福祉協議会 会長
委員	佐原 功一郎 (欠席)	湖西市商工会 副会長
委員	渥美 博之	新居町商工会 事務局長
委員	佐々木 由美子	市民委員
委員	小笠原 昌之	市民委員
委員	山本 涉	湖西市 健康福祉部長
委員	内山 賀津高	湖西市 都市整備部長
事務局	疋田 行彦	湖西市 企画部 市民協働課長
事務局	佐原 敬	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係長
事務局	伊藤 明生	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係主任

配付資料：会議次第

平成 30 年度第 3 回湖西市地域公共交通会議委員名簿

(資料 1) 平成 31 年度コーちゃんバス事業者選定結果について

(資料 2) 平成 30 年度湖西市バス運行評価改善報告書について

(資料 3) 地域公共交通確保維持改善事業 平成 30 年度事業評価について

(資料 4) 湖西市バス運行評価改善委員会からの改善に関する評価について

(資料 5-1) 生活交通確保計画 (案) 遠州鉄道(株)路線について

(資料 5-2) 生活交通確保計画 (案) 湖西市コミュニティバス路線について

1 開会

2 会長挨拶

コーちゃんバスは市民の皆さまの足として使っていただけるように利用促進をしてきました。しかし、その中でも極端に利用が少ない便がございます。効率化という観点でみれば、てこ入れをしなければならないという方向になり、その結果についてご報告をさせていただきます。

また、白須賀地区ではデマンドの検証をしており、着実に利用者数が伸びておる状況であります。その他の地区でもお話をさせていただいております、その報告もさせていただきます。よろしくお願ひします。

3 報告事項

(1) 平成 31 年度コーちゃんバス事業者選定結果について

<事務局>

- 資料説明（資料 1）

<委員>

- 引き続きになるが、安全運転に努めていく。

(2) 平成 30 年度湖西市バス運行評価改善報告書について

<事務局>

- 資料説明（資料 2）

※内容に関連性が認められるため、協議事項（1）、（2）と併せて説明、質疑応答とする

<委員>

- 様々な取り組みに頭が下がる思いであるが、7 ページのコーちゃんバスに関する PR は利用者だけではなく、幅広く行くとよいと感じた。

<事務局>

- 市のホームページや広報紙にも記載している。これからも市民の皆さまに分かりやすい周知方法を考えていきたい。

<委員>

- 片道定期券の 10 件という数字に対しての手ごたえはどうか

<事務局>

- 小学生を対象とした事業であればよいものと考えている。今後も乗り方教室等での PR に努めていく。

<座長>

- お金を出すのは保護者であるため、保護者へのアピール等があると良いのではないか。
- 免許返納などは他の部局だと思うので、様々な事業でも他部局との連携が行われるとよい。

<事務局>

- 免許返納者には運転経歴証明書の発行費用分をお返しすることをしており、その際にバスの乗り方について案内をさせていただいている。

4 協議事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業 平成 30 年度事業評価について

<事務局>

- 資料説明（資料 3）

※内容に関連性が認められるため、報告事項（2）、協議事項（2）と併せて説明、質疑応答とする

<委員>

- 園児の絵をバスに飾るということで利用促進というのは、絵を描いた子に対して利用券の配布などをしたのか。乗る機会を与えるという意味で、利用券を配布してもいいのでは。

<事務局>

- 協力いただいた子たちには、バス事業者から提供された粗品等を配布したが、利用券の配布はしていない。

<座長>

- やったことが多く書かれているもの、その検証がなされておらず、何に結び付いたのかが不明である。
- Do と Check と Action が結びついていないように思うので、再整理が必要ではないか
- 「運行の効率化」というのはどういうことなのか、文章を精査しておくことが大切だと思う

<委員>

- 中部様式 1 の 6 ページから A と B の評価が記載されているが、その根拠はどういったものか

<事務局>

- こちらは改善報告書からの引用である。改善報告書の 60 ページからを見ていただくと、どういった評価項目に基づいて A や B がつけられているのかを見ていただけたらと思う

<座長>

- それならばこの資料にもそのように書いておかないと分からないと思う

<委員>

- 資料中に「来年度は行わない」という結論が書かれているが、それではこの会議の意味がないと思う。説明の中でPDCAが回っておらず、次へのステップがない。事業をやめたらいいということではないと思う。
- A評価でも「来年度は事業を行わない」というものがあるが、これはなぜか

<事務局>

- 計画期間の5年間で行う事業もあるため、今の段階ではC評価となっているものがある。何も動きがないものということではない。
- 自主運行浜名線という事業名で行う事業は終了し、コーちゃんバス入出新所鷺津線として運行しているため、自主運行浜名線について来年度は行わないという書き方となっている。

<委員>

- そのような事情であれば、そのように書いた方がよい。

<委員>

- 7ページについて、ローマ字をバス停に追記したのみで「効果が顕著」という評価はどうか。どのような点から効果が顕著であったのか教えて欲しい。

<事務局>

- 検討する。

<委員>

- 本省様式2ページについて、白須賀鷺津線の「大学生以上」はどのような理由からなのか。

<事務局>

- この表記はOD調査より引用している。

<座長>

- ⑤について、H29利用者と記載されているが、突然登場しているため分かりづらい。どこから引用した数値であるのか、どのような数値であるのかを補足的に記載するべきではないか。

<事務局>

- 市としての評価を行った昨年度の実績を基準とした。どこかに記載したい。

<座長>

- 頂いた意見を含めながら、事務局と会長と私で修正を行い、中部運輸局へ提出していくという段取りを了承したうえで、承認いただきたい。

<一同>

- 異議なし。

(2) 湖西市バス運行評価改善委員会からの改善に関する評価について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

※内容に関連性が認められるため、報告事項（2）、協議事項（1）と併せて説明、質疑応答とする

<座長>

- 利用促進を12月末から3月まで行うということだが、具体的には何を行うのか。
- 見直しをするということは、次には見直しの案が出るということか。

<事務局>

- 広報やホームページ、バス停、バス車内などにおいて、利用促進の案内をしていく。その結果として利用いただけない部分については、見直しを図っていく。
- 利用促進の案内後に利用いただけない部分に関しての見直し案を3月に出す予定でいる。

<委員>

- 資料中の評価表の「該当しない」ということが見直し対象ということか。

<事務局>

- 便の継続を行う条件を整理する中で、その条件に該当しないということであれば、見直しの対象としていくということである。

<座長>

- いくつかの条件の中で、一つでも条件に該当していれば継続するということか。

<事務局>

- そうである。

<委員>

- バスを使っていない人に使われなければ利用は増加しない。そういった人たちへのはたらきかけを思い切って行うべき。

<座長>

- 回覧板で周知する方法が最初に思い浮かぶ。ホームページに掲載してもアクセスしなければ意味がない。自治会の会長さんたちが来ているため、こちらにお願いする方法もある。
- この3か月間がバス路線にとっては勝負であると思う。事務局はその点も踏まえて、周知方法も考えていただきたい。何をやるか分からない中で承認するということでは、納得いかないこともある。

<事務局>

- 様々な方々にお願いしながら周知していけたらと思っている。

<委員>

- 地域包括支援センターやケアマネージャーなどにチラシが渡ると、要介護や要支援に近い人たちへの話の種にもなり、新しい利用者につながると思う。

<委員>

- 継続運行を行う条件の⑥乗り継ぎに関しての基準は、どのような数値であれば高く、どのような数値であれば低いのか。よく見ると半分くらいの数値でも高いと評価されているものもあり、素人目では分かりにくい。
- コーちゃんバス同士の乗り継ぎで40%台であり、半分以上がどこかへ行ってしまっている状況で、その40%台が高いというのは違和感がある。

<事務局>

- コーちゃんバス以外で行動することができない地域間移動を考えた場合、一定程度の数字があれば、継続していかなければならないと考えている。
- JRとの乗り継ぎであれば、事務局案であるが、半数以上の数値が出ていれば継続と考えている。

<座長>

- 説明頂いたことで周知し、3月に結果を見てその後のことを決めていくということで進めていきたいと思う。

(3) 湖西市バス運行評価改善委員会からの改善に関する評価について

<事務局・小野田委員（代理：小林委員）>

- 資料説明（資料5-1、5-2）

<座長>

- 計画での実車走行キロが減っているが、どういう理由からか。

<委員>

- 平成30年10月よりダイヤ改正をしており、便数が減っているため、その影響が出ている。

<座長>

- 資料5-2に記載されている検討の経緯について、文が長くわかりづらくなっているため、箇条書きか短い文章で説明がつくようにするとよい。
- コーちゃんバスの再編がある中で、県にはどのように報告、提出していくのか

<事務局>

- 修正して提出する。
- 提出の方法や手順、期限について県と相談した上で提出していく

<委員>

- 計画は修正したうえで、報告することも可能である。3月末時点で判明したものに関しては、その修正事項を報告していただきたいと思う。

<座長>

- 遠鉄バス浜名線は地域間幹線となっており、この路線が補助落ちしてしまうと、コーちゃんバスで受けているフィーダーの補助金も受けられなくなってしまうため、補助金だけが目当てで頑張るということではないが、皆さんにもご協力いただきながら、残っていくように進めていきたい。
- 資料については3月末の修正があるかもしれないため、その修正、報告を待つ形になりますが、本日はこの資料でご承認いただきたいと思う。

5 その他

<委員>

- 茨城県東海村のデマンド交通について視察したことを報告した。
- 利用者は女性が多く、社会福祉協議会が運行し、1乗車300円である。
- 地理に詳しい方が配車センターに配属されており、効率的にバスの配車を行っていた。
- 利用する範囲の制限はなく、村域全体をカバーしている。

<座長>

- 湖西市に合った交通の仕組みを考えていくために、ぜひ参考にさせていただきたいと思う。

<事務局>

- 次回の地域公共交通会議は3月を予定しており、詳細が決まり次第連絡をする。

6 閉会

<事務局>

- 以上をもって、平成30年度第3回湖西市地域公共交通会議を終了とする。

以上